

8. 東北復興支援・子ども達の心のケア支援や地域防災の啓発・再生

グループ名 ダッシュ隊徳島

代表者 川島 淳

① 活動の目的

- ・東日本大震災で被災した子どもたちの保養
- ・東北と徳島の子どもたちの交流により情報交換、防災への意識向上
- ・東北、徳島の子どもたちから徳島の地域住民に向けて防災の啓発

② 活動の概要

(1) 東日本大震災で被災した子どもたちを徳島に招待し、保養プロジェクトを実施した。期間中、地元の子ども（徳島県内）と防災セミナーで交流していただき、お互いの親睦を深めてもらう。徳島での海遊び体験や野外でのバーベキューなど自然体験活動を考えた。その他、徳島市内で行われる阿波踊りを、本場の演舞場で踊ることで踊る阿呆に見る阿呆になってもらうことで徳島の伝統文化に触れてもらった。また期間中、実施された「TEEN's 防災」では子どもたちが防災について考え、来場者と意見交換することで情報を共有し、防災について意識向上を図ることができ、とても有意義なイベントとなった。

(2) 来県団体及び参加人数

南三陸町内小・中学校・高校生・南三陸町出身大学生 計：17名

(3) 来県期間

平成27年8月12日～平成27年8月16日



(4) 実施期間中の主な活動

< 1日目 >

- ・平成27年8月12日(水) 石井町防災ステーション三郎広場にて
- ・参加人数 43名(来県者17名、地元子ども16名、スタッフ10名)
- ・到着後、南三陸町の子どもと地元の子どもとの交流会を兼ねた食事会を行った。



< 2日目 >

- ・平成27年8月13日(木) 徳島市川内町小松海岸にて
- ・参加人数 43名(来県者17名、地元子ども16名、スタッフ10名)
- ・自然体験活動として小松海岸にてスタンドアップパドルボードサーフィン体験及び海遊びを行った。



< 3日目 >

- ・平成27年8月14日（金）健生病院駐車場と徳島市内演舞場にて
- ・参加人数 43名（来県者17名、地元子ども16名、スタッフ10名）
- ・阿波踊りの練習及び各演舞場にて阿波踊りを体験した。



< 4日目 >

- ・平成27年8月15日（土） 石井町中央公民館にて
- ・参加人数 120人（外部来場者含）
- ・東北と徳島の子どもたちが中心となってその他の参加者とともに防災をテーマに考えた。第一部では震災体験を交えたパネルディスカッション、第二部では子どもたちがこれから災害に備えて何が必要か考えオリジナル防災を提案・発表する。会場にいる人がそれぞれ交流する中で防災についての意見や情報を共有し、一人一人の防災意識の向上を図るとともに、子どもたち同士の親睦を深めた。



③ 決算報告書

収入 大同生命厚生事業団助成金	100,000 円
支出	
（１）飛行機代	662,500 円
仙台空港→神戸空港（行き）	
21,000 円×2 人=42,000 円	
22,700 円×4 人=90,800 円	
20,900 円×7 人=146,300 円	
21,900 円×3 人=65,700 円	
14,900 円×1 人=14,900 円	
神戸空港→仙台空港（帰り）	
22,700 円×4 人=90,800 円	
20,900 円×7 人=146,300 円	
21,900 円×3 人=65,700 円	
（２）バス代	353,650 円
宮城県南三陸町から仙台空港、往復バスチャーター費	
117,450 円	
神戸空港から石井町までの移動及び来県期間中移動に使用するバスチャーター費	
236,200 円	
合計	1,016,150 円